



木曾川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2017年5月14日(日)9:30~12:00(晴)

参加者 一般:7名(うち子ども3名)

指導員:6名

テーマ 「河原を彩る花を見よう」

春の花の観察です。河原には多くの外来植物が生育し、今を盛りと花を咲かせています。

堤防で目立つのは大きな黄色の花を開いたオオキンケイギクです。繁殖力が強く特定外来生物に指定されています。かつて対岸の笠田広場で大規模に植栽されていたものが広がったものと考えられます。

芝生ではメリケントキンソウを観察しました。南アメリカ原産のキク科の小さな植物ですが、果実に鋭いトゲがあり、うかつに触ると怪我をするおそれがあり、愛知県自然観察指導員連絡協議会で今年度調査対象としているものです。バラ園の周りにたくさん生えていますが、上から植物体を押さえて痛さを体験した参加者もいました。

大野極楽寺公園の北側の堤防では、外来種のヒサウチソウとセイヨウヒキヨモギが咲いていました。花の色は白と黄色で違いますが、ハマウツボ科(従来の新エングラ一分類体系ではゴマノハグサ科)のよく似た形状の植物です。ヒサウチソウは昨年より更に分布を広げたように思われます。

大野極楽寺公園の水路ではオオカワチシャとオオフサモが隣り合って咲いていました。どちらも特定外来生物に指定されているものです。

ほかにもボタン、ヒメボタン、ナヨクサフジなどの外来種に出会いましたが、在来種より目立っていました。

温かくなってナミアゲハ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウモンなどのチョウやシオカラトンボも飛びましたが、ハラビロトンボが道路の水たまりに飛来し、産卵行動を見せてくれました。思いがけない生きものとの出会いを楽しめました。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

花:ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、ハルジオン、オニタビラコ、ニガナ、ニホンタンポポ、コウソリナ、ノアザミ、コメツブツメクサ、コメツブウマゴヤシ、シロツメクサ、ヒナギキョウ、キキョウソウ、ツメクサ、イヌコモチナデシコ、コマツヨイグサ、ユウゲショウ、マツバウンラン、ムラサキサギゴケ、ヒメスイバ、オッタチカタバミ、アメリカフウロ、オヘビイチゴ、エゴノキ、トチノキ

虫:モンキチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ヤマトシジミ、ツバメシジミ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、ナナホシテントウ

鳥:ツバメ、トビ、ヒバリ、ホオジロ、シジュウカラ、エナガ、カワラヒワ、キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(声)、オオヨシキリ(声)、キジ(声)



(芝生でメリケントキンソウ探し)



(ヒサウチソウ)



(セイヨウヒキヨモギ)



(メリケントキンソウ)